



2018年5月1日

報道機関関係者の皆さまへ

尚綱学院大学ボランティアステーション  
大学間連携合同学習会「“被災地の今を知る” 関上バスツアー」  
のお知らせ

報道関係者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素より本学院の教育へご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

尚綱学院大学では東日本大震災直後から地元名取市にある大学として、震災 1 年後にはボランティアステーションを立ち上げ、主に名取市内の仮設住宅等において寄り添い支援を続けており、毎年 5 月には新入生や新たに支援活動に参加したい学生を対象に、被災地踏査等の学習会を行って来ました。

昨年 2017 年より、本学だけではなく県内他大学の学生を受け入れる形での学習会を実施。**震災時小中学生だった学生たちが改めて「被災地の今」を知り、これからの支援活動に活かせるよう、また次の災害がおこった時に自分の力を役立てることができるよう、これまで継続して関わってきた名取市関上をフィールドにした学習会を行います。**

午前には被災地を実際に訪れ自分の目で今の状況を確認し、午後は語り部の方に震災直後のことや震災前、そして今の関上についてお話を聞き、ワークショップで県内の学生が意見交換しながら交流するなど、**大学間の壁を越えて宮城の学生が共に、震災について考える機会**を提供します。

つきましてはお忙しい時期とは存じますが、是非取材頂き、報道下さいますよう宜しくお願いします。

記

■日時：2018年5月12日（土）9：30～17：00 終了予定

■場所：名取市関上／尚綱学院大学

■内容：裏面参照

<リリースに関するお問合せ先>

所属：尚綱学院大学 連携交流課  
氏名：連携交流課 佐々木真理  
TEL：022-381-3315  
Email：[renkei@shokei.ac.jp](mailto:renkei@shokei.ac.jp)